

June 2008

町の 交差点 WIDE

地域のニュースは総務課
(☎65・1082)まで



炭鉱・吉隈鉱業所の歴史のかけらを求めて・・・

五月晴れとなった5月11日、「吉隈鉱業所跡」を歩いてみよう！（王塚装飾古墳館主催）が開催されました。参加者は、桂川町のみならず、日本発展の原動力となった炭鉱の一つ、吉隈鉱業所跡を当時を知る人の話や貴重な資料をもとに歩き、今は無くなってしまった在りし日の風景を思い起こしました。数少ない炭鉱跡の面影が残る、弥栄のあそうスーパー裏の高台から県道を挟んで麻生ゴルフ場内中腹の土手を見渡してそっと^{まぶた}瞼を閉じると、高台にある弥栄本坑から出た石炭を積んだトロッコが、車道をまたぐ弥栄トンネルの上を通して土手を走っていく様子が浮かんできました。



これからの季節は特にご用心を！！

5月11日、福岡県警飯塚署の生活安全課のお巡りさんを講師に迎え、平山老人クラブ恵寿会防犯教室が開催されました。昨年1年間に桂川町では、25件の空き巣・忍び込みなどによる被害が出ており、これから夏に向けて涼風を求めてドアの開けっ放し、網戸だけで表の庭いじりといった、ほんの一瞬のスキにドロボウは入りますのでご注意ください。また二階、三階でも安心せず、必ず施錠を心がけてください。



まずは、できることから・・・

5月17日、住民センターで桂川町婦人会総会が開催されました。「今年も積極的に様々な行事に参加し、また地球温暖化や環境問題など身近なところから取り組み、住みよい街づくりに貢献できれば」と安河内浩子会長。総会後には、早速「地球温暖化と段ボールコンポスト」と題した講演が行われました。



我が研鑽の友家畜の為に

5月16日、太陽の暑い日ざしが降り注ぐ中、嘉穂総合高等学校畜産科の生徒、教師らによる「^{ちくこんさい}畜魂祭」が厳粛に執り行なわれました。「私たちは色々な命の輪の中で生かされている」と諭す^{きと}生職の言葉に、学習の過程で消えていった家畜の命に合唱する生徒の姿がありました。



元気を奮い立たせる王塚太鼓の響き♪

5月17日、飯塚市伊川にある介護老人保健施設コスモス苑に、力強い太鼓の音が響き渡った。王塚太鼓のメンバーが「施設のお年寄りと一緒に楽しいひと時を過ごすことが出来れば」と訪問公演をしました。王塚太鼓の演目の間には、直に太鼓に触れてもらう機会も設けられ、バチを握ったお年寄りは皆、子どもたちに負けじと奮い立った気持ち同様、力強く太鼓を打ち鳴らしていました。終了後メンバーの小学生は「おじいちゃん、おばあちゃんに元気を分けられたみたいで良かった」とニッコリ笑顔で答えてくれました。